



第28期 第 業 報 告 書 2007年1月21日~2008年1月20日

Takasho



次世代の住環境を見据え、 新しい庭文化を創造する。



私たちタカショーグループは1980年創業以来、ガ ーデニング&エクステリアを心豊かな生活文化と捉 え、"ハート&アート"を基本テーマに様々な庭空間を 皆様にお届けしてまいりました。それは暮らしに新 鮮な風を吹き込み、庭での暮らしに関わるすべての 人々の笑顔を育むライフスタイルのご提案に他なり ません。

日本の四季やわびさびの美学が息づく、静寂で凛と した和の庭園づくり。自然の鮮やかな色彩を楽しむ、 華やかな洋のガーデニング。アジアとヨーロッパの 文化が重なり合うニュージャパネスクの世界……。 私たちは国内外に広がるグループネットワークを活 かし、地球規模であらゆるエレメントを融合させて、 既存の枠を超えた独自の世界を創り上げ、永く受け 継がれる空間づくりを目指してまいります。

また"自然との共生による循環型社会の実現"も私 たちの大きなテーマのひとつです。リーディングカン パニーとしての誇りと責任を胸に、商品づくりはもち ろん、企業活動全体の姿勢としてグループー丸と なって環境対応に取り組んでまいります。

Heart&Art











季節を充たし、 人と自然を潤します。



Green それは大地に根ざし、 大地を被い、 人と自然を癒します。



高岡 伸夫

株主の皆様には、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。 平素は格別のご支援、ご高配を賜り誠にありがとうございます。 このほど2007年1月21日から2008年1月20日までの「第28期事業報 告書 | がまとまりましたので、ここにご報告させていただきます。

ガーデニングの時代を迎えて

日頃は、タカショーの経営に何かとご理解を賜り厚く御礼 申し上げます。

おかげさまで上場して今期でちょうど10周年となりました。この10年間、タカショーは大きく変貌を遂げてまいりました。事業部としてプロユースと、ホームユース、またeコマースを含めた無店舗販売の充実、さらにヨーロッパ、アジア、オセアニアを中心とする、海外での売り上げや販売ネットワークも整備してまいりました。

プロユース事業部においては、タカショーのビジネスモデルは工場量産型でなく、現場の庭、空間、暮らしの作品を商品とするライフスタイルメーカーとして認知度が高くなり、全国の有力施工店様の組織であるタカショーリフォームガーデンクラブの加盟店も設立2年にして500社を超えました。また独自の販売ネットワークにおける強固な問屋様との連携により、販売ネットワークの確立ができてまいりました。

LEDサインやLED外構照明の分野も順調に動き出し、いよいよ今期から5th ROOM(5番目の部屋)をテーマに、リビング、ダイニング、キッチン、ベッドルームといった室内の住まいに、タカショーの市場ターゲットであるガーデンという部屋を提案し、本格的に、コンセプトと共に商品シリーズを発売することになりました。また、環境対応として国内の間伐材を利用し、自然の木に特殊高熱処理をした、腐りにくいタンモクウッドの発売も順調にスタートの運びになりました。

工場設備も徐々に生産性を上げながら、ガーデンの暮ら しのオンリーワン企業として成長してまいります。

ホームユース事業部においては、ディズニー、ワーナー・ブラザース、ローラアシュレイ、他、自社ブランドのGースタ

イルや、Gーストーリーをはじめ、専売ブランドでの売り場の確保や独自の利益性を高め、海外および国内の工場との物流やネットワークの差別化により、寡占化を進めております。ディズニーブランドのガーデン分野の専売を、日本に引き続き韓国でも取得し、グローバル化も同時に進めております。そのグローバル化の波の中で、中国、ヨーロッパ、オーストラリア、韓国、他、海外の各国タカショーグループの販売も伸び、タカショーヨーロッパ(ドイツ)においては3,000店舗もの納品をさせていただくようになりました。やっと軌道に乗りつつあります。

プロユース事業部の商品はほぼ100%国内自社、関連工場ですが、ホームユース事業部においては、海外工場からのHC様に直接のデリバリーや、組み合わせ物流をさせていただいており、国内の定番配送まで含め、季節性の高いガーデニングの競争の中で、タカショーはオンリーワンカンパニーになりつつあります。

創業以来30年、一度だけの赤字を除き、ずっと黒字の中で社内留保を大事に考え、利益を出しながら投資を続け、ようやく会社の戦略が形になってまいりました。そして、20年間かかりましたが、250名近い社員のうち55%が新卒者となり、優秀な途中入社のベテランとのバランスも取れ、何より大事な人材型企業としての形も整ってまいりました。

これからは、踊り場でのこの10年間で培ったものをベースにグローバル、デザイン、環境をテーマに、成長のスピードを上げながら、時代を作って行かれるお客様と共に社会に貢献できるタカショーグループであり続けたいと思っております。株主様にとっては、まずは配当性向を今までの20%から30%を目標とさせていただき、株主様に益々期待していただけるような経営をと考えております。

今後とも益々のご指導・ご鞭撻よろしくお願いいたします。

タカショーの事業展開

独自の商品開発力でガーデニング市場をリード

Global Network

海外タカショーグループ

天津高秀国際工貿有限公司 広州オフィス 佛山市南方高秀花園製品有限公司 ト海オフィス 上海高秀園芸建材有限公司 華東オフィス 満州里高秀木業有限公司 台湾オフィス 有限会社タカショーヨーロッパ シドニーオフィス タカショーコリア有限会社

海外販売

- ●アメリカ ●イギリス
- ●ドイツ ●フランス ●中国
- ●シンガポール ●オーストラリア ●韓国

海外提携

- ●アメリカ ●イギリス

●イタリア

- ●イタリア
 ●オランダ
- ●ドイツ ●オーストラリア ●台湾
- ●スペイン

●オランダ

●台湾







Такаѕно

本社には国内外からのマーケティング情 報を集約すると共に、プランニング機能、 物流システム開発から品質管理、人材開 発、お客様支援サービスの整備に至るま でのコア機能を集約させ、世界のグルー プネットワークを動かしています。



ガーデンプラン

株式会社青山ガーデン

- ●ガーデンエクステリアにおけるデザインソフトの販売
- ●ガーデニングに関するセミナーおよび教育
- ●ガーデン用品に関するオリジナル通販およびギフト販売

生産グループ

和歌山ガーデンクリエイト株式会社

- ●アルミ柱加工
- ●エバーバンブーフェンス製造
- ●合成竹組立
- ●別注商品製造および輸入品二次加工
- ●商品開発および改良

徳島ガーデンクリエイト株式会社

- ●エバーバンブーボード真空成型および組立
- ●ラティス・ラフィードフェンス加工および組立
- ●押出および射出成型管理

奈良ガーデンクリエイト株式会社

- ●天然竹製品加工および材料管理
- ●木製フェンスおよび 連杭などの塗装加工
- 輸入製品の品質管理

株式会社タカショーデジテック

- ●LED (発光ダイオード) 照明機器の企画開発
- ●LED (発光ダイオード) サイン商品の企画開発
- ●ディスプレイサインの企画・設計・製造・販売・設備工事

デザインプラン

株式会社日本インテグレート

●ヤールスプロモーションの企画 ●印刷物の企画、制作

Market

●環境への取り組み 地球環境や人へのやさしさを追求しています。



▶3つのRへのこだわり

環境保全・再生に向けた環境産業への転換が 地球環境再生への足がかりになると考えます。

> リデュース (長持ちする) **Reduce**

ビオガーデン

人と自然とが共存し あえる、やすらぎの ある水辺の空間をご 提案しています。



●物流システム

お客様の様々なニーズに お応えするため、物流拠点、 物流システムの充実を目指 しています。



中央ロジスティックセンター

●情報サービス

リコース

(部分的に再利用)

Reuse

新商品のお知らせや、 エクステリア情報を発 信しています。



ホームページ



Webカタログ



Web自動積算システム

http://takasho.jp

プロユース PROガーデンエクステリア分野

緑化などの公共事業、戸建て、商業施設、ハウスメーカー様の企画・設計 デザイン、施工部門などプロのお客様をトータルサポートいたします。



総合カタログ



カテゴリーカタログ





GADIS

ホームユースホームセンター・ガーデンセンター

DIYを基本とした庭づくりもお任せください。ホームユースブランドの 「GADIS(ガディス)」はホームセンター様向けの当社ブランドです。





青山ガーデン

■ e-コマース/通信販売

インターネットを通じて売買するe-コマースはお陰様で、年々知名度を 上げております。今後はさらに商品アイテム数を拡充させ、お客様のご 要望にお応えしてまいります。



青山ガーデンホームページ



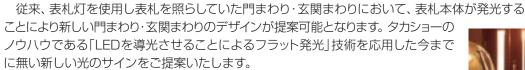
■ タカショー新本社棟・新タカショーデジテック棟が完成

顧客ニーズにあった商品開発の強化とオフィス環境を整えたタカショー新本社が完成いたしました(2007年10月9日より営業スタート)。LED(発光ダイオード)を使ったガーデンライトをはじめとする外溝照明やサイン、表札などの商品を手がけるタカショーデジテック(子会社)の新社屋も隣接し、グループ全体として、今後さらにお客様への迅速な対応ができるよう組織作りを進めております。なお旧本社は「第2商品センター」と名称を改め、中央ロジスティックセンターと並ぶ物流拠点兼倉庫として稼働しております。



■「De-sign」(ディーサイン)シリーズに新商品を追加

タカショーデジテックと共同開発し、オリジナルデザインがオーダーできるサイン「De-sign」シリーズに、LEDでフラット発光する導光板とステンレス、真鍮、銅板のそれぞれを組み合わせた新しい光のサイン(表札)の発売を開始いたしました。



また「株式会社青春ワークス」代表取締役を務めるプロダクトデザイナー武井泄月 袴氏がデザインした「De-sign」シリーズ「SETSUKO TAKEIデザイン」も同時発売 いたしました。



■ 薬剤不使用の高耐久性天然木材『タンモクウッド』を発売

本年度が本格的な販売となる「タンモクウッド」は、国内で計画的に植林された杉材を使用した天然木材のシリーズです。特殊高熱処理を施すことで、防虫剤や防腐剤などの薬品を一切使用せずに、屋外使用時の耐久性を高めた新世代の木材です。

デッキやフェンス類の他に、自由な設計の際に使いやすい部材のみの販売もしており、デザイナーの感性を活かしたプランが可能な品揃えです。







■ LAURA ASHLEY OUTDOOR LIVING(ローラアシュレイ アウトドアリビング) とブランドライセンス契約を締結

イギリスのホームファニシングの有名老舗ブランドであるLAURA ASHLEY(ローラアシュレイ)の屋外用家具・ファブリック類のライセンスを有するExclusive Outdoor Living(エクスクルーシブ アウトドア リビング)とのブランドライセンス契約を締結し、同社ブランド商品の日本専売権を取得しました。ローラアシュレイは独特の美しい花柄をモチーフにしたテキスタイルのインテリア製品で幅広い年代の女性の支持を得ており、今後展開するガーデンファニチャーもインテリア製品同様に受け入れられると予想されます。またインテリアで有名なブランドでのガーデン製品販売により、日本でのガーデンファニチャーの認知を高める効果も期待できます。

■ ワーナー・ブラザース コンシューマー プロダクツとガーデニング分野で ■ ブランドライセンス契約を締結

ワーナー エンターテイメント ジャパン株式会社の一部門であるワーナー・ブラザース コンシューマー プロダクツとのガーデニング分野においてのブランドライセンス契約を締結しました。初年度となる2008年度は、トゥイーティーやバックスバニーが登場する、ワーナー・ブラザースの代表的作品「ルーニー・テューンズ」や、人気が非常に高く子供からも親しまれている「トムとジェリー」のキャラクターを中心に商品化していく予定です。子供から大人までが楽しめるアニメーション映画の世界をガーデニング分野で再現し、ガーデニングに関心が低い層へ積極的にアピールをすることでマーケットの拡大を狙います。

■海外への展開

タカショーグループでは、世界最大と言われる国際ガーデン・ライフスタイル専門見本市「GAFA」(ドイツ・ケルン) やイギリス最大の国際ガーデン・レジャー展示会「GLEE」(イギリス・バーミンガム)、アジア最大の展示会場を使用 した「JAPANフェアin広州」(中国広州交易会琶洲展示場)などの各種展示会を通じてTakashoブランドを積極的

に海外展開していっております。







[GAFA]

[GLEE]

「JAPANフェアin広州」

連結財務諸表(要約)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第28期 2008年1月20日現在	第27期 2007年1月20日現在
●資産の部		
流動資産	6,756	6,073
固定資産	2,935	2,560
有形固定資産	2,221	1,762
無形固定資産	119	131
投資その他の資産	595	666
資産合計	9,692	8,634
●負債の部		
流動負債	4,344	3,838
固定負債	1,531	1,366
負債合計	5,875	5,204
●純資産の部		
株主資本	3,821	3,359
資本金	570	463
資本剰余金	593	486
利益剰余金	2,689	2,440
自己株式	△ 31	△ 31
評価・換算差額等	△ 21	54
その他有価証券評価差額金	Δ 0	2
繰延ヘッジ損益	△ 35	31
為替換算調整勘定	15	20
少数株主持分	16	16
純資産合計	3,816	3,429
負債および純資産合計	9,692	8,634

損益計算書

(単位:百万円) 第27期

科目	第28期 2007年1月21日から 2008年1月20日まで	第27期 2006年1月21日から 2007年1月20日まで		
売上高	13,437	12,420		
売上原価	7,658	7,150		
売上総利益	5,778	5,270		
販売費および一般管理費	5,181	4,845		
営業利益	597	424		
営業外収益	92	62		
営業外費用	215	72		
経常利益	474	414		
特別利益	157	12		
特別損失	107	21		
税金等調整前当期純利益	524	406		
法人税、住民税および事業税	126	221		
法人税等調整額	117	6		
少数株主損失	9	5		
当期純利益	289	183		

キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	第28期 2007年1月21日から 2008年1月20日まで	第27期 2006年1月21日から 2007年1月20日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 57	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 707	△ 622
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,094	501
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	4
現金及び現金同等物の増減額	331	△ 88
現金及び現金同等物の期首残高	946	1,035
現金及び現金同等物の期末残高	1,277	946

連結株主資本等変動計算書 (2007年1月21日から2008年1月20日まで)

(単	 ٠	百	ᆫ	m	١

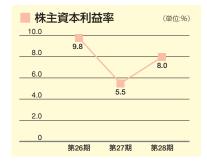
	株主資本			評価・換算差額等				/IV ##+##->-	(d. 次立		
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	繰延ヘッジ 損益	為替換算 調整勘定	評価·換算 差額等合計	少数株主 持分	純資産 合計
2007年1月20日残高	463	486	2,440	△31	3,359	2	31	20	54	16	3,429
連結会計年度中の変動額											
新株の発行	106	106	-	-	213	_	-	_	_	-	213
剰余金の配当	_	-	△ 40	-	△ 40	_	-	_	_	-	△ 40
当期純利益	-	-	289	_	289	-	_	-	_	_	289
自己株式の取得	_	-	_	△ 0	△ 0	_	-	_	_	-	△ 0
株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額)	-	_	-	-	-	△ 3	△ 67	△ 4	△ 75	△0	△ 75
連結会計年度中の変動額合計	106	106	249	△ 0	462	△ 3	△ 67	△ 4	△ 75	△ 0	386
2008年1月20日残高	570	593	2,689	△ 31	3,821	△ 0	△ 35	15	△21	16	3,816













個別財務諸表(要約)

貸借対照表

(単位:百万円)

科目	第28期 2008年1月20日現在	第 27期 2007年1月20日現在
●資産の部		
流動資産	5,137	4,657
固定資産	2,679	2,405
有形固定資産	1,670	1,222
無形固定資産	31	32
投資その他の資産	977	1,150
資産合計	7,817	7,063
●負債の部		
流動負債	3,454	3,377
固定負債	1,499	1,044
負債合計	4,954	4,422
●純資産の部		
株主資本	2,899	2,606
資本金	570	463
資本剰余金	593	486
利益剰余金	1,767	1,687
自己株式	△ 31	△ 31
評価・換算差額等	△ 36	34
その他有価証券評価差額金	Δ 0	2
	△ 35	31
純資産合計	2,863	2,640
負債および純資産合計	7,817	7,063

損益計算書

(単位・百万田

浜皿引 弁百	(単位:白万円)				
科目	第28期 2007年1月21日から 2008年1月20日まで	第27期 2006年1月21日から 2007年1月20日まで			
売上高	12,224	11,341			
売上原価	7,570	6,968			
売上総利益	4,654	4,373			
販売費および一般管理費	4,340	4,074			
営業利益	314	299			
営業外収益	114	73			
営業外費用	196	61			
経常利益	231	312			
特別利益	178	0			
特別損失	107	21			
税引前当期純利益	302	291			
法人税、住民税および事業税	22	122			
法人税等調整額	159	17			
当期純利益	120	151			

株主資本等変動計算書 (2007年1月21日から2008年1月20日まで)

(単位:百万円)

		資本類	則余金		利益乗				株主資本	その他	繰延ヘッジ	評価·換算	純資産 合計
	資本金	資本	資本剰余金	利益	その他利	益剰余金	利益剰余金	自己株式	△ ≡+	有価証券	横延 ハッン	計価·揆昇 差額等合計	合計
		準備金	合計	準備金	別途積立金		合計			評価差額金	担皿	左郎守口可	
2007年1月20日残高	463	486	486	12	650	1,025	1,687	△ 31	2,606	2	31	34	2,640
事業年度中の変動額													
新株の発行	106	106	106	_	_	_	_	_	213	_	_	_	213
剰余金の配当	_	_	_	_	_	△ 40	△ 40	_	△ 40	_	_	_	△ 40
当期純利益	_	_	_	_	_	120	120	_	120	_	_	-	120
自己株式の取得	_	_	_	_	_	_	_	△ 0	△ 0	_	_	_	△ 0
株主資本以外の項目の 会計期間中の変動額(純額)	_	-	-	_	-	-	-	_	-	△ 3	△ 67	△ 70	△ 70
事業年度中の変動額合計	106	106	106	_	_	80	80	Δ0	293	△ 3	△ 67	△ 70	222
2008年1月20日残高	570	593	593	12	650	1,105	1,767	△ 31	2,899	△ 0	△ 35	△ 36	2,863

会社の概要/株式の状況 (2008年1月20日現在)

会社の概要

商 号 株式会社タカショー TAKASHO CO LTD

本 社 和歌山県海南市南赤坂20番地1

設立 昭和55年8月 資本金 570,560,704円 従業員 249名(127名)

※注()は臨時雇用者数であります。

主要な事業内容――

◆ ガーデニングフェンス

(人工竹木フェンス関連商品・天然竹木フェンス関連商品)

- ◆ 庭園資材(緑化資材・ガーデンファニチャー・人工植物関連商品)
- ◆ 照明機器(ガーデンライト商品)
- ◆ 池·滝·噴水
- ◆ その他(坪庭・プライベートブランド商品等)

主要な事業所

華東事務所 中国東陽市 上海事務所中国上海市 広州事務所中国広州市 台湾事務所台湾高雄市 オーストラリアオーストラリア 事務所シドニー

役員

代表取締役社長 高 岡 伸 夫 取 締 役 岡 室 宏 之常務取締役 平 松 昇 取締役(社外) 山 田 拓 幸取 締 役 高 岡 淳 子 監査役(常勤) 増 川 昭 夫取 締 役 丸山野 行 信 監査役(社外) 宮 尾 文 也取 締 役 寒 川 浩 監査役(社外) 足 立 昌 彦

株式の状況

発行可能株式総数・・・・・・・26,000,000株 発行済株式の総数・・・・・・・8,679,814株 当期末株主数・・・・・・・・・・4,284名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数
高岡伸夫	2,090 千株
株式会社タカオカ興産	850
タカショー社員持株会	363
株式会社紀陽銀行	242
ビーエヌピーパリバセキュリティーズサービスパリスジャスデックフランス	223
岡室宏之	203
株式会社三菱東京UFJ銀行	194
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	193
高岡マサエ	176
小倉貿易株式会社	160

※注 当社は自己株式188,324株を保有しておりますが、上記大株主から除いております。

株主メモ

事業年度 1月21日から翌年1月20日まで

決 算 期 1月20日

配 当 金 1月20日現在の株主、中間配当実施のときは7月 20日現在の株主に、それぞれ配当します。

定時株主総会 4月

公告方法 電子公告にて行います。ただし、電子公告による ことができない事故その他やむを得ない事由が生

じたときは、日本経済新聞に掲載します。

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

住友信託銀行株式会社

同事務取扱場所 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒183-8701

東京都府中市日鋼町1番10

住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) (住所変更等用紙のご請求) 0120-175-417

(その他のご照会) 0120-176-417

(インターネット http://www.sumitomotrust.co.jp/STA/retail/

ホームページURL) <u>service/daiko/index.html</u>

同 取 次 所 住友信託銀行株式会社 全国各支店



当社は株主優待制度として、庭のお好きな方や、これから庭を楽しみたい方にさらにご満足いただける「タカショーガーデン友の会」を発足いたしました。目的は、当社を通じ豊かな時代を創るオーナーとして、21世紀の環境づくりに参加していただき、なお且つガーデニング人口を増やしていこうという考えも入っております。今後とも、より一層のご支援を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

(注)特典2、5、6については、毎年1月20日の株主名簿および実質株主名簿に記載または記録された株主様のみとなります。

やすらぎのある空間づくり





TEL 073-482-4128 (代表) FAX 073-486-2560 (代表) ホームページ http://takasho.jp

